

令和4年度学校評価アンケート調査 集計分析結果

令和5年2月7日(火)第3回学校運営協議会資料、2月16日(木)定例職員会議資料

今年度も、学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

本校が学校経営の重点としている4つの目標について、達成状況をまとめましたので、ご報告いたします。また、各項目毎の詳しい内容につきましても掲載いたしますので、ご覧ください。

皆様から頂戴した意見につきましては、真摯に受け止め、職員会議の中で共有し、今後の改善につなげてまいります。

令和4年度 学校経営の重点

【重点目標1】授業の最適化の追求

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、授業が分かりやすい・適切な学習内容となっていると答えた生徒・保護者の割合【80%以上】	・分かりやすく勉強を教えてくれると感じている生徒の割合【98.3%】 ・学校の授業は適切な学習内容となっていると感じている保護者の割合【90.5%】	○

【重点目標2】進路指導の充実

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、進路の相談や情報提供が十分であると答えた生徒・保護者の割合【80%以上】	・進路実現に向けて相談にのってくれていると感じる生徒の割合【97.1%】 ・進路について十分な情報を提供していると感じる保護者の割合【86.1%】	○

【重点目標3】連携と協働の強化

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、特別支援のセンターとして地域と連携していると感じる教職員・関係機関の割合【90%以上】	・特別支援教育のセンターとしての役割を果たしていると感じる教職員の割合【99.1%】 ・関係機関との連携を密に行っていると感じる関係機関の割合【93.8%】	○

【重点目標4】安全・安心な環境づくり

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、安全な教育環境を整えていると感じる生徒・保護者の割合【90%以上】	・学校は安全で過ごしやすいと感じる生徒の割合【94.8%】 ・学校は安全な教育環境を整えていると感じる保護者の割合【94.9%】	○

令和4年度 学校評価アンケート調査 集計分析結果

岩手県立一関清明支援学校

1 実施内容

(1) 調査期間 令和4年11月25日(金)～12月9日(金)

(2) 調査対象とアンケート回収率

- ①教職員 100%(125/125人)※医療的ケア看護師・嘱託非常勤職員等除く
- ②保護者 90%(137/152人)
- ③児童生徒 93%(139/149人)※幼稚部を除く回答可能な児童生徒
- ④関係機関 70%(16/23機関)※学校評議員・福祉サービス事業所・継続型支援対象校

(3) 集計方法

- ①【教職員・保護者・関係機関】
 - 回答は、A:よくできている、B:おおむねできている、C:あまりできていない、D:できていない、E:わからない(評価できない)からの選択で行った。
 - 評価全体(ABCD)における肯定的評価(AB)の割合を示し、昨年度との比較を行った。
- ②【児童・生徒】●回答は、A:はい、B:いいえ、C:わからないからの選択で行った。
- 評価全体(AB)における肯定的評価(A)の割合を示し、昨年度との比較を行った。
- ③肯定的評価の割合…◎100%、○95%以上100%未満、▽70%以上80%未満、▼70%未満で示している。
- ④昨年度との比較……◎10%以上の増加、○5%以上10%未満の増加、▽5%以上10%未満の減少、▼10%以上減少で示している。

2 全体分析

- 教職員・保護者・児童生徒・関係機関とも、昨年度と同様に高評価であった。肯定的評価の平均値は以下のとおりである。

項目数	教職員 24項目	保護者 17項目	小学部児童 5項目	中学部生徒 9項目	高等部生徒 9項目	関係機関 3項目
平均値	94.5%	91.5%	99.5%	94.4%	95.7%	96.6%
昨年度	96.1%	95.3%	100.0%	95.4%	94.3%	98.4%
比較	-1.6%	-3.8%	-0.5%	-1.0%	1.4%	-1.8%

- 昨年度と比較すると、肯定的評価の平均値はおおよそ1.2%低下した。
 - 特に保護者からは、「学校・保護者・地域連携」の項目で肯定的評価の平均値が低下し、教職員からは「研修の項目」全てにおいて昨年度より評価が低下した。
- 児童・生徒の回答については、学校での生活や教育活動については高評価となっており、他校との交流も復活していることから評価に上昇がみられた。
 - 「復興教育の実施」については、教職員の評価に低下がみられ、生徒の回答においても防災学習の理解に対する評価が昨年より低下している。
 - 保護者においては、「いじめ・体罰・差別排除」の項目で昨年度より7%低下した。
- 関係機関の回答については、回答数が減少する中ではあるが昨年度と同様に高い評価を受けている。
- フォームによる回答率は12月2日現在で幼小52.9%、中55%、高36%と低かったが、声掛けや用紙に記入する方法で幼少92.6%、中95.3%、高80.7%まで上昇した。

3 項目別分析①

(1)「学校経営全般」について

【教職員】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)			今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
○	01	学校は、教育目標・経営方針を適切に設定し、達成できるように実践している。	○ 98.3%	119 / 121	100.0%	-1.7%
	02	教職員は、意思疎通を図りながら、働きやすい職場環境の整備に努めている。	85.5%	106 / 124	87.0%	-1.5%
○	03	学校は、学校の実態や幼児児童生徒の様子について、保護者に適切に情報提供をしている。	○ 96.8%	120 / 124	97.7%	-0.9%
	04	学校は、幼児児童生徒の病状や障がい配慮し、安全・安心な教育環境を整えている。	93.5%	116 / 124	95.5%	-2.0%
	05	学校は、地域の教育資源（施設・機関）を活用した教育活動を行っている。	89.9%	107 / 119	91.5%	-1.6%
○	06	学校は、危機管理体制を適切に設定し、運用している。	○ 97.6%	121 / 124	96.9%	0.7%
○	07	学校は、いじめ、体罰、差別等を排除する学校づくりに努めている。	○ 98.4%	121 / 123	99.2%	-0.8%

【保護者】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)			今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
○	01	学校は、教育方針を分かりやすく伝え、達成できるように努力していますか。	○ 98.5%	135 / 137	94.6%	3.9%
○	02	学校の校舎や敷地は、清潔に保たれていますか。	○ 96.4%	132 / 134	98.7%	-2.3%
	03	学校は、幼児児童生徒の病状や障がい配慮し、安全な教育環境を整えていますか。	94.9%	130 / 136	99.3%	-4.4%
▽	04	学校は、地域の教育資源（施設・機関）を活用した教育活動を行っていますか。	89.1%	122 / 124	94.1%	▽ -5.0%
○	05	学校は、地震や風水害等の非常時に備え、連絡方法や訓練などの対応を適切に進めていると思いますか。	○ 96.4%	132 / 132	99.3%	-2.9%
▽	06	学校は、いじめ、体罰、差別等を排除する学校づくりに努めていると思いますか。	89.1%	122 / 128	96.2%	▽ -7.1%

【児童・生徒】 A:はい,B:いいえ,C:わからない			今年度(A)	今年度回答数 (A)/(A+B)	前年度(A)	比 較
○	《小01》	あなたは、学校が楽しいですか。	○ 97.6%	40 / 41	100.0%	-2.4%
○	《中01》	あなたは、学校が楽しいですか。	○ 97.4%	37 / 38	95.0%	2.4%
○	《高01》	あなたは、学校が楽しいですか。	○ 97.8%	44 / 45	98.1%	-0.3%
◎	《小03》	先生は、あなたの話をきいてくれますか。	◎ 100.0%	38 / 38	100.0%	0.0%
○	《中03》	先生は、あなたが困ったときや悩みがあるときに、相談にのってくれますか。	○ 97.1%	34 / 35	94.6%	2.5%
	《高03》	先生は、あなたが困ったときや悩みがあるときに、相談にのってくれますか。	93.2%	41 / 44	96.0%	-2.8%
	《中05》	学校は、安全で過ごしやすいですか。	91.9%	34 / 37	88.9%	3.0%
○	《高05》	学校は、安全で過ごしやすい環境が整えられていますか。	○ 97.7%	43 / 44	100.0%	-2.3%

★分析

- ・教職員や保護者は、「地域の教育資源を活用した教育活動」における評価が、昨年度より4-7%程度の低下がみられた。コロナ禍3年目の教育活動で、教育資源を活用した授業等の工夫が必要だと感じている割合が増えている。
- ・児童生徒の多くが、学校は楽しいと感じている一方で、それぞれの学部で楽しくないと答えている生徒も1名ずついる。見過ごさずに、丁寧な指導が必要である。
- ・保護者の中には、「いじめ・体罰・差別の排除」「障害に配慮した安全な教育環境」に不満を抱えている割合が、昨年度と比較すると若干増えている。

3 項目別分析②

(2)「教育活動」について

【教職員】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)			今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
○	08	学校は、幼児児童生徒の実態や保護者のニーズを反映させた個別の指導計画を作成し、活用している。	○ 97.5%	119 / 122	100.0%	-2.5%
○	09	学校は、幼児児童生徒の実態に合わせて、健康管理や体力向上の指導を適切に行っている。	○ 98.4%	121 / 123	97.7%	0.7%
○	10	教職員は、幼児児童生徒が気軽に相談したり話しかけたりできるように努めている。	○ 96.0%	119 / 124	99.2%	-3.2%
	11	学校は、地域や交流籍校との交流や共同学習を積極的に推進している。	94.3%	115 / 122	92.9%	1.4%
	12	学校は、キャリア教育の視点を取り入れ幼児児童生徒の将来を見通した教育を行っている。	92.6%	112 / 121	95.2%	-2.6%
	13	学校は、防災教育を中心とした復興教育を行っている。	89.3%	108 / 121	91.2%	-1.9%
○	14	学校は、個々の生徒の実態やニーズに応じた進路指導を適切に行っている。	○ 96.7%	116 / 120	98.4%	-1.7%

【保護者】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)			今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
	07	お子さんは、学校で楽しく学習活動に参加していますか。	93.4%	128 / 136	97.3%	-3.9%
○	08	学校は、個別の指導計画や教育支援計画に、保護者の願いを反映させていますか。	○ 95.6%	131 / 136	95.4%	0.2%
	09	学校の授業は、お子さんに合った適切な学習内容になっていますか。	90.5%	124 / 130	95.4%	-4.9%
	10	学校は、健康管理や体力向上について、お子さんの実態に合わせて適切に行っていますか。	94.9%	130 / 133	96.0%	-1.1%
	11	学校は、幼児児童生徒一人一人が活躍できるように学校行事を工夫して行っていますか。	94.2%	129 / 131	95.3%	-1.1%
▽	12	学校は、地域や交流籍校等との交流学习や共同学習を十分に行っていますか。	86.9%	119 / 125	92.4%	▽ -5.5%

【児童・生徒】 A:はい,B:いいえ,C:わからない			今年度(A)	今年度回答数 (A)/(A+B)	前年度(A)	比 較
◎	《小02》	先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。	◎ 100.0%	38 / 38	100.0%	0.0%
	《中02》	先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。	94.9%	37 / 39	97.2%	-2.3%
◎	《高02》	先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。	◎ 100.0%	44 / 44	97.9%	2.1%
◎	《小04》	先生は、あなたががんばったことをほめてくれますか。	◎ 100.0%	37 / 37	100.0%	0.0%
○	《中04》	先生は、あなたが努力したことを認めてくれますか。	○ 97.3%	36 / 37	97.0%	0.3%
○	《高04》	先生は、あなたが努力したことを認めてくれますか。	○ 95.4%	42 / 44	97.9%	-2.5%
○	《中06》	先生は、あなたが病気やけがをしないようにするためには、どうすればよいか教えてくださいますか。	○ 97.4%	37 / 38	97.2%	0.2%
○	《高06》	先生は、あなたが病気やけがをしないようにするためには、どうすればよいか教えてくださいますか。	○ 97.5%	39 / 40	95.5%	2.0%
▽	《中08》	避難訓練や防災学習では、自分の身の守り方や助け合うことの大切さがわかりましたか。	89.2%	33 / 37	97.4%	▽ -8.2%
	《高08》	地域や被災地の奉仕活動は、良い活動内容でしたか。	0.0%	0 / 0	93.3%	-93.3%
○	《高09》	先生は、進路について十分な情報を提供してくれますか。	○ 97.3%	36 / 37	100.0%	-2.7%
	《中09》	先生は、進路について、わかりやすく教えてくださいますか。	93.3%	28 / 30	93.9%	-0.6%
○	《高10》	先生は、あなたの進路実現に向けて相談にのってくれますか。	○ 97.1%	34 / 35	100.0%	-2.9%

★分析

- ・児童や生徒における教育活動の評価は高評価であり、教員と児童生徒の関係性の良さがうかがえる。
- ・防災教育(復興教育)や地域との交流・共同学習への取り組みが、あまりできていないと感じている教員数は増加し、保護者のニーズも増えていると思われる。
- ・生徒の評価においても、防災学習の大切さを問う項目で昨年度より8%低下していることから、防災・復興学習をマンネリ化せず風化させない取り組みが必要である。

3 項目別分析③

(3)「学校・保護者・地域の連携」「教職員研修」について

【教職員】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
○	15 教職員は、幼児児童生徒の指導に関して、保護者や家庭のニーズの把握に努めている。	○ 98.4%	121 / 123	99.2%	-0.8%
◎	16 教職員は保護者に対して、幼児児童生徒の様子を分かりやすく伝えている。	◎ 100.0%	123 / 123	100.0%	0.0%
○	17 教職員は、保護者が気軽に相談できる環境づくりに努めている。	○ 98.4%	122 / 124	98.4%	0.0%
◎	18 学校は、PTA活動に対して、適切な支援を行っている。	◎ 100.0%	118 / 118	97.7%	2.3%
○	19 学校は、地域の特別支援教育のセンターとしての役割を十分に果たしている。	○ 99.1%	116 / 117	98.3%	0.8%
○	20 学校は、関係機関の協力や支援を適切に得られるように努めている。	○ 98.3%	119 / 121	99.2%	-0.9%
	21 学校は、広報やホームページ等を活用し、広く学校の情報を発信している。	91.7%	111 / 121	96.1%	-4.4%

【保護者】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
○	13 学校は、保護者宛の文書や校報等で、学校の取組や幼児児童生徒の様子について、わかりやすく情報提供をしていますか。	○ 97.8%	134 / 136	95.3%	2.5%
	14 学校は、進路について、十分な情報提供をしていますか。	86.1%	118 / 127	89.4%	-3.3%
▽	15 学校は、地域の福祉サービス等について、十分な情報提供をしていますか。	82.5%	113 / 120	89.9%	▽ -7.4%
▼	16 学校は、広報やホームページ等を活用し、広く学校の情報を発信していると思いますか。	80.3%	110 / 113	92.6%	▼ -12.3%
▽	17 学校は、PTA活動に適切な支援を行っていますか。	90.5%	124 / 125	98.6%	▽ -8.1%

【関係機関】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
	01 学校は、関係機関との連携を密に行っていると思いますか。	93.8%	15 / 16	95.2%	-1.4%
○ ▽	02 学校は、地域の特別支援教育センターとしての役割を果たしていると思いますか。	○ 92.9%	13 / 14	100.0%	▽ -7.1%
◎	03 学校は、広報やホームページ等を活用し、広く学校の情報を発信していると思いますか。	◎ 100.0%	13 / 13	100.0%	0.0%

【児童・生徒】 A:はい,B:いいえ,C:わからない		今年度(A)	今年度回答数 (A)/(A+B)	前年度(A)	比 較
◎	《小05》交流学習では、友だちと楽しく交流できましたか。	◎ 100.0%	27 / 27	100.0%	0.0%
▽	《中07》交流学習では相手校の生徒と十分に交流できましたか。	91.2%	31 / 34	97.2%	▽ -6.0%
◎	《高07》一関二高との交流学習では、十分に生徒同士の交流ができましたか。また、他の学校と交流をしてみたいと思いますか。	85.7%	30 / 35	64.7%	◎ 21.0%

【教職員研修】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比 較
	22 校内での研修・研究が十分に行われ、教職員の専門性や指導力の向上に役立っている。	91.0%	111 / 122	94.5%	-3.5%
▽	23 授業研究が十分に行われ、幼児児童生徒の将来の社会自立に向け、生きる力を高める授業実践が行われている。	85.2%	104 / 122	93.6%	▽ -8.4%
▽	24 学校は、校外で開催される研修会等に教職員が参加しやすい環境づくりに配慮している。	81.7%	98 / 120	87.3%	▽ -5.6%

★分析

- ・交流学習が3年ぶりに復活した本校舎高等部もあり、交流に関しては高評価であった。
- ・本校が地域のセンター的な役割を担っており、その役割を十分に果たしているが、その情報が保護者や外部には伝わっていない。広報やホームページを利用した情報発信方法や情報共有の方法に工夫が必要である。
- ・教職員研修においては、研修に参加しやすい環境が整っておらず、生きる力を高める授業ができていないと感じている教職員が増加した。